

針に頼らない丁合機

プレッショが「TZシリーズ」発表

23段機、25段機を先行販売

新製品

（例）プレッショ（北代和也代表取締役社長）は新製品として丁合機「TZシリーズ」を発表。6月17日からTZシリーズ23段機、同25段機について限定先行販売を開始した。

「針に頼らない画期的な丁合機」というのが同シリーズの最大の特徴。

にとつて大切な広告物であるチラシに傷をつけることもなく、作業中に間違つてチラシに針が混入するといったトラブルの心配もない。チラシ作業の初心者でも使いやすく、ケガの心配もないなど作業の安全性と効率性のアップも可能になった。

開発時に行われた新聞販売店の

具体的には給紙ローラーとチップの幅を大きくしたことでプレーキ力をアップさせ、チラシの重送を抑止。また補助ローラーはその素材から見直した結果、紙粉の付いたチラシ、あるいはインクがべたついたチラシなどで起こりがちだったスリッ

プ・空送りの減少を実現化させた（※1）。

半年以上にわたるフィールドテストには、営業や技術・設計担当者だけでなく、同社の役員ら経営陣も足を運び、チラシ作業をみずから行うなどして現場の要望に耳を傾け、改良はその度に重ねられた。

約1年間の開発にあたっては、1カ月に40件前後寄せられる全国の新聞販売店からの要望やクレームから、「針」に関する要望が一番多いという結果を重視した。

さらに静電気や粉塵にも強く、薄紙への対応にも万全を施した設計によつて、チラシの表面にできるしわ寄りを低減させることにも成功した（※2）。

その結果、モニターとなった販売店からは「紙サバキをしなくても作業に入れたことで作業時間の短縮が図れた」。加えてエラー回数的大幅削減により、トラブル処理の対応時間が短縮。同社の従来機との比較では「処理の対応時間が1/5に削減できた」といった評価を得ることができた。

設計や営業といった部門を超えたプロジェクトチームを編成し、現場の声をでき得る限りフォローアップ

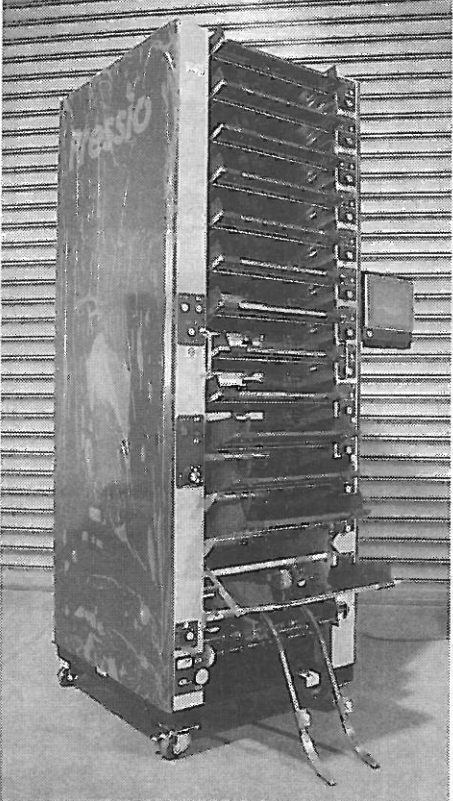
針を使用しないことでスポンサー

価格は23段機が372万円（税抜）。25段機が398万円（税抜）。納期は通常4日のところ、TZシリーズに関して

は予約が殺到しており、現在は約1カ月が見込まれる。

なお、（※1）と（※2）については

特許出願中。



（※1）と（※2）については特許出願中。